

主催：大阪弁護士会

『風は生きよという』

映画上映会

& トークセッション

～障がいのある人の人権と、命・暮らし～



動けなくなることで、見えてきたもの
呼吸器から吹く風に乗り、つながりあう人と人との物語



参加費用
無料
定員
200名
(先着順)

監督・撮影・編集・ナレーション：穴戸大裕 音楽：未森樹 整音：米山靖 アニメーション：植田秀蔵 撮影協力：神吉良輔、高橋慎二
宣伝写真：齋藤陽道 宣伝デザイン：玉利公節 助成：公益財団法人 キリン福祉財団 企画・製作：全国自立生活センター協議会
配給：『風は生きよという』上映実行委員会 2015年/日本/81分/ドキュメンタリー

2016年 **12月17日(土)**
午後1時30分～4時30分

会場：大阪弁護士会館2階203・204会議室
参加対象：どなたでもご参加いただけます。
申込方法：裏面申込書又は大阪弁護士会
ホームページよりお申し込みください。



プログラム：

- 本編上映(午後1時30分～、上映時間81分)
- トークセッション(上映終了後)
～障がいのある人の人権と、命・暮らし～

出演／新居優太郎さん(映画「風は生きよという」出演)
新居真理さん(新居優太郎さんの母)
江菅純一さん(新居優太郎さんの担任)
甲谷匡賛さん(ALS患者)
志賀玲子さん(甲谷匡賛さん支援者)
東奈央(弁護士・大阪弁護士会)


映画字幕あり


手話通訳・
要約筆記あり
(トークセッションにて)



託児あります→12月1日(木)までに電話でお申し込みください。

【問合せ／一時保育受付】大阪弁護士会 法律相談部 相談二課 Tel:06-6364-1238(平日9:00～17:00)

Message for You

もしあなたが、病気や障害のために
身体を動かせなくなったとしたら、
どんな人生を想像しますか？

人は誰しも老いていきます。ある日突然、障害を持つことになるかもしれません。日本の統計では、障害のある人の割合は人口の約6%と言われていて、障害があることは特別なこととはいえません。しかし、障害のある人の暮らしや、置かれた状況、命の大切さについて、見つめ直す機会は十分ではありませんでした。

平成28年4月からは障害者差別解消法がスタートしています。障害のある人を取り巻く制度は動きつつあるのに、差別や偏見の解消にはたくさんのハードルがあります。差別の根底には、「知らない」「見ない振り」があるとされています。

今回、映画上映会につづき後半は、ゲストを囲んでトークセッションを行います。甲谷さんは、40代でALS（筋委縮性側索硬化症）を発症、3年の入院生活の後、京都の町屋で10年目の24時間他人介護による独居生活を継続中です。

障害のある人が、どこでどのように生活しているか、それにはどのような支援が必要か、この映画を通して、もう一度障害のある人の暮らし・命について考える機会になればと思います。

映画「風は生きよという」について

存在を否定され、死ぬ自由を突き付けられ、それでもなお地域社会に分け入っていく勇敢な呼吸器ユーザーたち。

今までこんな風には彼らを見たことはなかった。

存在理由を獲得していく彼らの姿が遅しく眩しく映っていた。

世界を救うヒーロー・ヒロインに見えてきた。

【作家・日本ALS協会理事】

川口有美子



参加申込書 (申込先FAX番号:06-6364-5069)

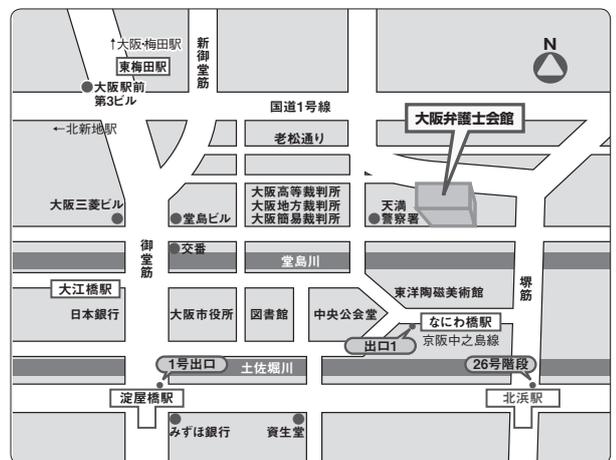
「風は生きよという」映画上映会 & トークセッション ～障がいのある人の人権と、命・暮らし～

ふりがな			
氏名			
電話		参加人数	

※記載いただいた個人情報は、大阪弁護士会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理し、参加確認の目的以外には使用いたしません。

主催：大阪弁護士会

交通



【アクセス】大阪弁護士会館 大阪市北区西天満1-12-5

- 京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口1から徒歩約5分
- 地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1号出口から徒歩約10分
- 地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分